



## 今月の公開授業

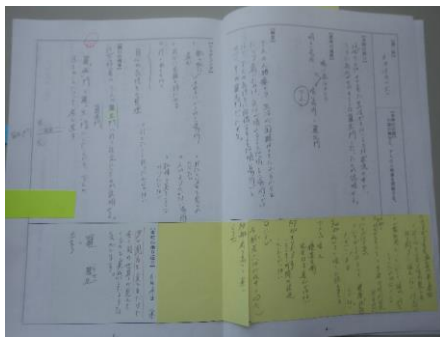
### 「羅生門」

辻崎 千尋 教諭 1年2組 「国語総合」

### 「絶滅危惧種についてプレゼンテーションをしよう」

山崎 泰代 教諭 吉村 満美 教諭 1年探究進学科 「総合英語」

この単元では最初に生徒たちから出た疑問点から問いを立ち上げて授業を進めている。「問い」を立てて、教科書をもう一度読み返し、「思考の過程」を書いてから自分で「解答」を書き、グループで「シェアリング」をして、「問いの再考」を経て「振り返り」を書くという流れで1時間が構成されている。本時では、「なぜ下人は、まともに生活できないような状況の中で、さらに気分が下がるような羅生門へ行ったのか説明せよ。」という問いを考えた後で「なぜ作者は、下人が羅生門に行く設定にしたのか説明せよ。」という聞き方に変え、問いの立て方で答えが変化する、ということを学んだ。授業者は板書をほとんどしない。見開き1ページを1時間で生徒自身の思考、友人とのシェアリングの内容で埋められている。



生徒のノートの一例

総合英語の4時間を使い、探究進学科独自の授業を実施した。

<1回目>「なぜ学ぶのか」「世界ではどんな問題が起きているか」等について英語で意見を交わし、セヴァン・スズキさんやグレッタ・トゥーンベリさんのスピーチ映像を見ながら、「自分が解決したい問題」について考える。

<2回目>教科書で学んだトピックを基に、本文内容を要約し、聴衆を引き付ける表現を工夫してプレゼンテーションを行う。グループ内で発表を行い、お互いに良かった点・改善点を話し合う。

<3回目>生徒は4月から「調べ学習ノート」に、「世界の危機に瀕する動植物について」というテーマで資料集めをしており、自分が調べた中から1つのトピックを選び、プレゼンテーション準備を行う。

<4回目>グループに分かれ、発表。終了後、次回に活かせるよう、お互いの良かったところなどをコメントし合った。

～生徒感想～

- ・絶滅危惧種についてこんなに深く考えたのは初めてです。世の中の便利さだけでなく環境も守っていくべきだと改めて感じました。
- ・今世界でたくさんの動物がすみ場所をなくしたり、絶滅の危機に瀕しているのを改めて感じた。動物のためにも少しでも行動を起こしたいと思った。
- ・聞き手に問いかけるところがあったり、自分の主張を強く言っているのが、聞き手を引き付けてよいプレゼンだと思った。
- ・人に何かを伝えるときは自分がしっかりと理解したうえで話すべきだと思った。そうすることで伝わりやすくなる。



### 「混合物の分離」

小原 崇裕 教諭 1年2組 「理数化学」

休校中に「砂、しょう油、赤ワイン、硝酸カリウムが含まれる混合物から、食塩、アルコール、硝酸カリウムを分離する方法を考案せよ」という課題を出した。今回の授業では、生徒が個人で考えた方法をグループで共有し、実際に分離実験を行った。授業者は注意事項を伝えるだけで、実験の手順や使用する実験道具は全て生徒自身で考える。生徒たちはこれまで学んだことをしっかり活かすことができおり、すべてのグループでアルコールおよび硝酸カリウムの分離に成功していた。食塩の分離に成功したグループは少なかったが、多くのグループが食塩の分離方法を自分たちの力で見つけ出すことができていた。生徒の中には授業

終了後に、「もう一度やらせてください」と申し出てくる者もあり、探究進学科の探究心の高さに驚かされた。



武高授業改善PTの活動は4年目に突入しました！PT活動は「大学入学共通テスト」「新学習指導要領」「ICTの活用」「教科横断型」「第3期SSHとの連携」に向けた授業改善を目的としています。6月は、上記の3件以外にも家庭科で公開授業が行われました。この授業については7月号にてご紹介します。今年度も、PTメンバーが中心となって授業改善を進めてまいります。すべては武生高校生のために！

# 第1回PT会議より

6/5(金) 16:20~被服室にて、今年度第1回の授業改善PT会議を行いました。伊藤先生(美術)、角正先生(家庭科)からの探究進学科「人間生活探究」オリエンテーションの報告のあと、辻崎先生から休校中の授業動画に対する生徒のコメントの紹介がありました。相道先生からは「現代社会」の授業実践報告があり、生徒が感じたコロナウイルスで生じた変化について紹介がありました。その後の研修では、「classiとGoogle classroomの活用について」をテーマにグループごとに議論しました。

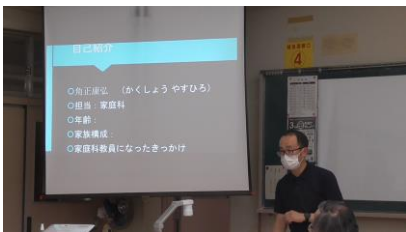
## 人間生活探究×芸術・家庭科

1年探究進学科の人間生活探究では「科学と感性」をテーマに、芸術や家庭科に関する探究活動を行います。5月下旬にそのオリエンテーションが開催されました。

芸術に関する活動では「STEAM (Science Technology Art Math) 教育」をコンセプトにします。日本の若者は、知識や技能の水準が高いが、それを有効に使えていないという調査結果をもとに、創造する力の重要性を生徒たちに伝えました。



家庭科については、日常生活に関するテーマについて科学的な視点から探究していきます。また、探究活動を行う上で必要な情報活



用の力を高めていきます。家庭科では、探究進学科に向けて休校中に「コロナ前と現在を比べて、家庭生活で変化したことは？」

というアンケート調査を行いました。なかには「感謝されることが増えた」という回答があり、生徒は日頃感謝されることをする時間すらないのかもしれないと考えさせられました。

## 研修「classiとGoogle classroomの活用について」

休校中にclassiやGoogle classroomを活用して、学習時間調査や学習課題の配布などを行いました。PT会議の研修では、それらの活用方法やどのように併用するかなどについて話し合い、下記の意見が出てきました。

- classiを一日一回見るという習慣は休校中に身についた生徒が多いが、学校が再開されてclassiを見る生徒が減ってしまっている。
- classiでは新しい連絡が積み重なり、大事な情報が埋もれてしまう。
- Google classroomでは授業ごとにカテゴリ分けできるため、必要な情報を取り出しやすい。
- youtubeには視聴回数が表示されるため、教師のモチベーション向上につながる。



classiやGoogle classroomは、部活動などの連絡や授業の補足説明にも使えるため、休校中でなくとも活用することができるのだと思いました。他校の使用例も参考にしながら、より良い活用法を模索していきたいです。

## 休校中の授業動画

休校中には多くの教科で授業動画が作成され、配信されました。動画はパワーポイントで作られたものや、教員がカメラに向かって授業を行うものがあります。実際に動画を見た生徒からclassiを通して感想が届けられました。「教員の全身が映っていた方が集中できる」、「人間は静止したものを見続けると集中力が切れるため、動きがあるとありがたい」、「映像授業を受けるうえで、倍速機能は欠かせない」などのコメントがあり、とても参考になりました。今回ほとんどの教員が初めて動画作成にチャレンジしましたが、このように生徒からの生の声を聞くと、どのように作成するのが良いのかが分かってきます。また、これからも授業動画が必要になるかもしれません。そのためのために研究を進めていきたいです。

臨時休校のためPT会議を開くことができていませんでしたが、ようやく第1回が開催されました。コロナウイルスの影響で、授業進度に遅れが生じたり、各種行事が中止になってしまいました。しかしその中で、新たに見つかった視点も多いと思います。ピンチはチャンスととらえ、得た経験をこれからの授業づくりに生かしていきたいです。

来月もPT会議が開かれます。今年度も多くの先生方と情報を共有し、どんどん前へ進んでいきたいです！！